

葉山町議会議長 土佐 洋子様

株式会社三嘉を事業者とする有限会社新世工業による下山口茅木山の大規模な造成工事に関して、きちんとした住民説明会開催を要請する陳情書

1 陳情の趣旨

下山口茅木山の開発行為に関して、近隣及び周辺住民は多大な懸念を抱いており、事業者に対し住民への丁寧な説明を求めています。事業者の方は現地で疑問に答える形で行いたいと主張しています。しかし、録音及び議事録を残すためにも、町がきちんとした住民説明会（会場を確保し十分な質疑の時間を取る丁寧な説明会）の開催を事業者に対して指導し、住民の不安を少しでも除いていただきますよう、葉山町議会におかれましてはご理解と後押しをお願いいたします。

2 理由

本年6月に近隣住民が41名の署名とともに陳情を提出し、全会一致で採択されました。しかしながら、その後も事業者の開発行為についての住民の懸念は大きくなるばかりの状況です。

10月29日には町長への要望書を住民115名の署名とともに提出しました。（町議会へも提出し、情報共有させていただきました。）

- 一、下山口茅木山は本年3月10日頃から突然造成^成工~~事~~が始まり、大規模な樹木の伐採（管理行為と事業者は主張）と重機による~~整~~整地で斜面の山肌が露わになり、近隣住民はもちろん、周辺や遠方の住民からも驚きや不安の声が上がりました。

本年9月5日の台風15号襲来による大雨で、当該造成地からは多量の土砂が流れ出し、事業者が片付けをする事態になりました。その際の土砂流出の動画を資料として添付しましたので、ご覧ください。〈添付資料 現場写真 No. 1 No. 2 及び9月5日当日の動画 DVD〉消防署員も駆け付け検分されていますので、その時の状況をお訊きいただければと思います。そのような大雨は今後も予想され、住民は不安を覚えています。

『葉山町土砂災害ハザードマップ』によれば、当該地は茅木山の直下にあたり、急傾斜地土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）及び土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に接しています。また土石流土砂災害警戒区域

(イエローゾーン) もすぐ間近にあり、今回のようなまたそれを上回る豪雨があれば、大きな被害を近隣だけでなく周辺地域にももたらすものと予想されます。

それらに対する安全対策の説明をきちんとしてもらいたいのです。

- 二. 右側（西側）の造成地については、町に相談もなく事業者が勝手に抜根整地を行っていて、町もきびしく対応し報告書の提出を求めています、未だに提出されていないと聞いています。風致地区にもかかわらず、勝手に重機を入れて造成するような事業者が、しっかりした安全対策をとり開発を行うとは思えず、住民の不安は募っています。
- 三. 当該地への進入路は道路幅が3m前後しかなく、本来なら4.5m以上なければならぬところ、但し書き条項（葉山町まちづくり条例施行規則第27条）により許可された経緯があります。許可されたものの、やはり道路幅の狭さは否めず、台風や豪雨、火災などの緊急事態において混乱が生じることが危惧されます。また、開発工事中のトラックの頻繁な通行についても住民が懸念するところです。

以上の住民の不安や懸念、危惧に対して、事業者は真摯に説明することが求められていると思います。特に茅木山はもともと水の出る危険性大の地域ですので、安全対策は欠かせません。その他施工計画や方法、開発工事中のトラックの通行等についても説明が必要です。

住民は、例えば下山口会館などの場所を確保して、十分な時間を取って丁寧な説明会を開催するよう要望していますが、事業者の方は難色を示しています。住民の意向に沿った説明会を行うようにとの都市計画課の指導にもかかわらず、その姿勢を変えていません。

住民の不安を払拭すべく、きちんとした住民説明会の開催を町が事業者に強く指導するよう切に願う次第です。葉山町議会におかれましては、ご理解とご支援を賜りたく、ここに陳情を提出いたします。

<添付資料>

- ・現場写真 No. 1 No. 2
- ・9月5日大雨時の動画 DVD

令和7年11月20日

葉山町下山口 1160-9 安室勝利

